



## 妊産婦の支援を強化 助産師が保健指導

### 佐久総合病院佐久医療センター 助産師外来開設

長野県厚生農業協同組合連合会佐久総合病院佐久医療センター（佐久市中込 3400 番地 28、院長：渡辺 仁）は9月9日から助産師外来を開設いたします。

#### 助産師外来概要

開設場所	佐久医療センター 産婦人科外来ブロック
外来開始日	2019年9月9日（月）
外 来 日	完全予約制。 （初診時）月～金曜日 午前（3 枠） （37 週妊婦健診）月曜日・火曜日・水曜日・金曜日 午前（4 枠）
対象者	佐久医療センターでのお産を予定している妊産婦の方（初診時と 37 週妊婦健診）
内容	（初診時） ・妊産婦のプロフィールやバースプランを確認し妊産婦の妊娠経過や生活背景を把握し、個々にあった保健指導 ・入院に必要な書類の説明 ・マタニティクラスの紹介  （37 週妊婦健診） ・通常の妊婦健診 ・入院の準備や入院方法の確認 ・産後の支援体制の確認 ・分娩・育児にあたっての不安についてヒアリング ・乳房のケアや授乳 ・産後の生活や育児について（育児体験）
費用	助産師外来：妊婦検診料 助産師外来＋医師健診：助産師保健指導料 2,000 円（税別）＋妊婦検診料 乳房外来：3,000 円（税別）

産前から産後までを助産師が一貫してサポートすることができ、妊産婦の方が日常生活の問題や支援、悩み事の相談などをしやすくなります。もし、異常が疑われ場合や認められた場合は産科外来の医師と連携をする体制をとっております。

## 背景

近年の妊産婦を取り巻く状況は支援者や支援が少ない状況にあり、産後うつ病による自殺の増加など悪化を示している。当院では、今まで助産師が問診を行い、医師が健診を行う妊婦健診が行われていますが、妊産婦の日常生活での問題や、悩み事までの対応ができない状況でした。

県内では、院内助産の普及や院内の助産院機能の併設、助産師外来機能の拡充が進んでいます。

## 目的・経過

産科外来に助産師外来の枠を設け、よりきめ細やかな妊産婦の指導・支援を行うことが目的です。

佐久総合病院分割再構築以前は佐久総合病院で助産師外来が行われていましたが、2014年の病院機能分割により佐久医療センターに産科機能が移行し、医療資源などが限られたことなどによって助産師外来が中断されていました。しかし、信州大学院内助産リーダー養成コースの受講を終了したスタッフを中心となり、この度の開設に至りました。

## 佐久医療センター 周産期母子医療センター

地域周産期母子医療センターとして産婦人科と小児科、小児外科がチームとなって、第1次から第3次までの周産期医療を提供しています。

重症切迫早産や早産、多胎妊娠、合併症妊娠、妊娠合併症などの異常妊娠や異常分娩の妊娠管理や周術期管理を行なっています。

また、佐久地域の正常分娩の受け入れも行なっています。ただし、当院でお産をご希望される場合は、妊娠診断・妊娠初期の妊婦健診は地域のクリニック・病院で受けていただき、30週ごろまでにクリニック・病院からの予約・紹介をしていただき、30～34週ごろ当院への初診となります。

〈本件に関するお問い合わせ先〉

佐久総合病院（本院） 担当：広報課 新海 茉優

TEL：0267-82-3131（代） FAX：0267-82-7533 MAIL：sakubyoin@sakuhp.or.jp

月曜日～金曜日（祝日を除く） 8時30分～17時

第2・4土曜日（祝日を除く） 8時30分～12時